



# 携帯&PC用ハンズフリーホン 取扱説明書

TEL-MHF310PC



最初に  
ご確認  
ください。

ハンズフリーホン	1台
マルチメディアスイッチ(MM-SW1)	1台
4極変換プラグ	1個
電源用USBコネクタ	1個
単4乾電池	4本
取扱説明書(本書)	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。  
また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

1	安全にお使いいただくために	7	・電池の動作確認方法
	セット内容		・電池持続時間
2	ハンズフリーホンの各部名称など	8	使用できる電話機
3	パソコンに接続して使用する場合		携帯電話・PHSでの使用方法
4	パソコンの設定例(Windows XP)	9	上手な通話方法
5	メッセージャソフトでの使用方法		・電上手な電話の受け方/切り方
6	MM-SW1の各部名称など		お手入れ
	パソコン接続Q&A		万一異常が起きた場合
7	乾電池の挿入方法	10	保証規定・保証書
	・乾電池の入れ方		

## 本文中のマークについて

**注意** 取付け、取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害を負う可能性がある内容、または物理的損害の発生が予想される内容を示しています。

**アドバイス** この用品のために守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。

## 安全にお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。  
取扱説明書にはTEL-MHF310PCを使用するお客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するため、守っていただきたい事項を記載してあります。お読みになった後は大切に保管してください  
本説明書中の製品の色調と実製品の色調が異なる場合がありますのでご了承ください。

**注意** 自動車内、温風排出部分など、高温が予想される場所に長時間置かれますと故障の原因となります。  
車から長時間離れる場合は、本製品を車外へ持ち出してください。

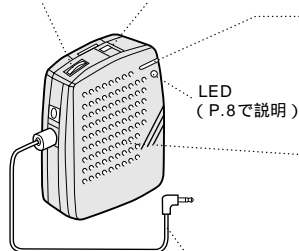
## セット内容



本製品は、決して分解しないでください。

## ハンズフリーホンの各部名称など

ボリューム (P.8で説明) 着信ボタン (P.8で説明)



マイク 無指向性で、40～60cm離れていても通話可能です。

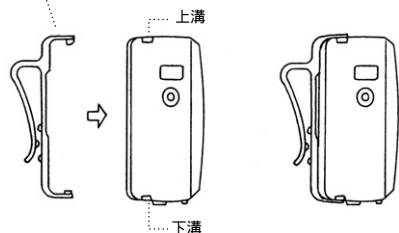
**注意** 強い風に直接マイク部分を当てないようにご注意ください。また、マイク部分を指などでふさぐことのないようにしてください。

スピーカー できるだけ正面を向くようにしてお聞きください。

**注意** スピーカー面をふさいだり、画紙などを表面の穴に入れないようご注意ください。音が小さくなったり破損したりする原因になります。

3種プラグ付コード 電話機と接続します。

クランパー(ベルトホルダー) 携帯電話ホルダーやベルトなどに取り付けるための部品です。



上下の溝に軽くはめ込むだけで取り付けます。

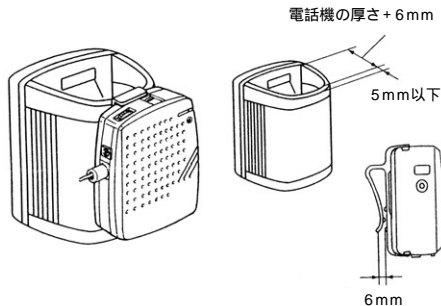
下方の溝にはまっている側に指をかけフックをはずせば、簡単に取り外せます。

### アドバイス

ハンズフリーホンを市販の携帯電話ホルダーに取り付けると便利です。携帯電話ホルダーは下記のものをお選びください。

携帯電話専用タイプ  
ホルダーの厚みが5mm以下で、ホルダー開口部が電話機の厚み+6mm以上のもの、携帯電話ホルダーの前面/側面に取り付け可能なもの。

重量がありますので、できるだけエアコン吹き出し口に取り付けられないようにしてください。



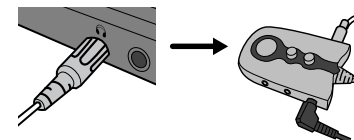
2

## パソコンに接続して使用する場合

**注意** 本製品の接続作業を行う場合は、必ず本製品・パソコン本体の電源をOFFにしておいてください。

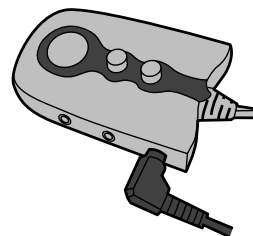
1. 本ハンズフリーホンの電源は、添付のUSB電源ケーブル、または乾電池を利用できます。
2. 乾電池の入れ方については、乾電池の挿入方法(P.7)をご覧ください。
3. USB電源ケーブルをご利用の際は、なるべくパソコン本体のUSBポートに接続してご使用ください。USBハブに接続した場合、正常に動作しない場合があります。
4. 同梱のマルチメディアスイッチMM-SW1と、ハンズフリーホンのケーブルを接続します。

6. パソコンのスピーカー端子に他のプラグが差し込まれている場合は、そのプラグを取り外し、MM-SW1のスピーカー端子に接続します。

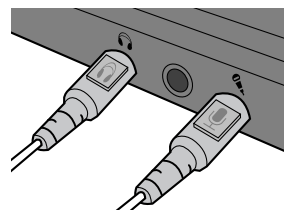


これで接続の準備は整いました。

7. MM-SW1のスイッチ切り替えについて  
本製品をお使いになる場合は、以下のスイッチ設定となります。  
「ヘッドホン/スピーカー」 ヘッドホン  
「マイク不可/マイク可能」 マイク可能  
スイッチ設定を誤ると動作に支障が発生しますので、ご注意ください。



5. MM-SW1のスピーカープラグとマイクプラグを、パソコンのスピーカー端子とマイク端子に接続します。



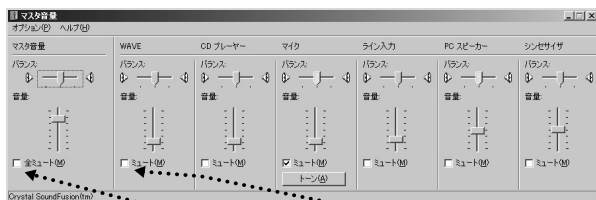
3

## パソコンの設定例 <Windows XP>

タスクトレイ(デスクトップ画面左下)のスピーカーアイコンをダブルクリックします。

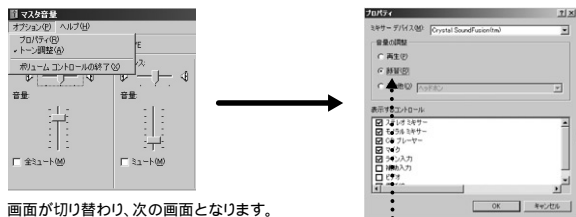
スピーカーアイコンが見えない場合は、コントロールパネル「サウンドとオーディオデバイス」「音量」「詳細設定」をクリックします。

下記の画面が表示されます。



「マスター音量」項目の「全ミュート」や「WAVE項目」の「ミュート」にチェックがついている場合、クリックして解除します。

「オプション」「プロパティ」をクリックします。

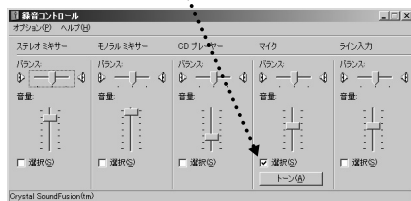


画面が切り替わり、次の画面となります。

「録音」をクリックします。

「マイク」項目にある、「選択」チェックボックスにチェックを入れます。

すでにチェックが入っている場合は、そのままに進みます。



「オプション」「ボリュームコントロールの終了」をクリックし、この画面を閉じます。

4

## メッセージャーソフトでの使用方法

<ハンズフリーホン電源の入れ方>

ボリュームは電源スイッチを兼ねています。OFFから右へ回すとONになります。さらに右にまわすと音量が上がります。ボリュームは適切な音量に調節します。着信ボタンを押してLEDが赤く点灯したら、動作中です。

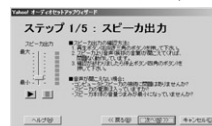
1. パソコンの電源を入れ、起動します。
2. ハンズフリーホンの電源を入れます。
3. 通信用ソフトウェア(ここでは例としてYahoo!メッセージャー)を起動します。



4. 「ヘルプ」「オーディオセットアップウィザード」を選択します。

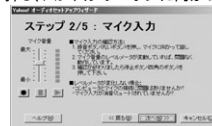


5. 画面の指示に従い、再生ボタンを押します、テスト音声ハンズフリーホンから出ればテストは正常です。



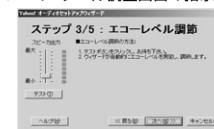
音量は、この画面では少し大きめに設定しておき、本機のボリュームで調整するとスムーズです。完了したら、「次へ」をクリックします。

6. マイク入力の調整画面の指示に従い、「録音ボタン」を押し、ハンズフリーホンに向かって話します。

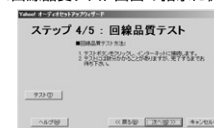


音量は自動調整ですので、特に設定は必要ありません。

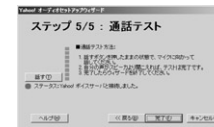
7. エコーレベル調整画面の指示に従います。



8. 回線品質テスト画面の指示に従います。



9. 通話テスト画面の指示に従います。



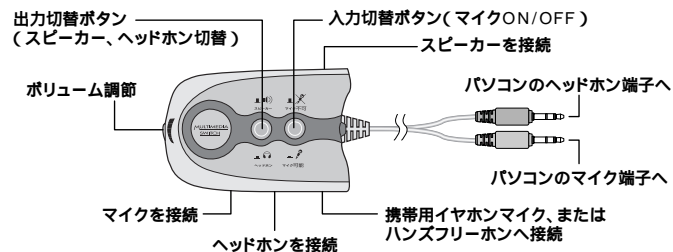
自分の話す声が聞こえ始めると完了です。本機を使用して、実際の音声チャット相手と、音声通話を始める際には、「ハンズフリー」のチェックボックスをチェックしてください。



本説明は、Yahoo!メッセージャー5.1.0.1094bを基に作成しております。説明と実際の画面が異なる場合は、Yahoo!メッセージャーのヘルプをご覧ください。また、Yahoo!メッセージャーについてのお問い合わせは、Yahoo!JAPANのホームページをご覧ください。  
<http://messenger.yahoo.co.jp/>

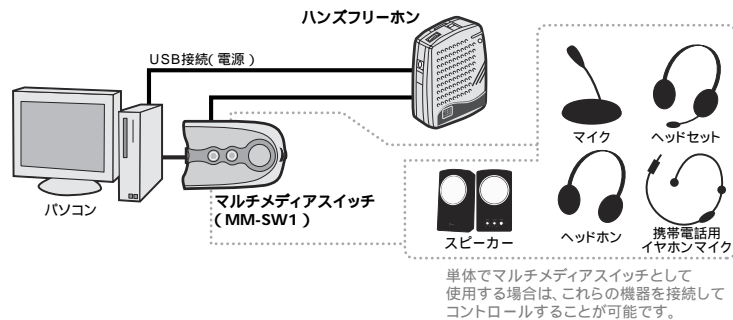
5

## MM-SW1の各部名称など



MM-SW1単体では、マイク使用のON/OFFやスピーカーとヘッドホンの切替など、面倒な抜き差しをすることなく音声入出力機器をコントロールするマルチメディアスイッチとして動作します。

ハンズフリーホンと組み合わせてパソコンに接続すると、ビデオチャットに使用可能です。接続方法は下記の通りです。



## パソコン接続Q & A

Q: パソコンに接続する場合、ハンズフリーホンのUSBケーブルのみを接続すれば使えますか？

A: いいえ、ハンズフリーホンに付属のケーブルをMM-SW1に接続し、スピーカー、マイクの各ケーブルをパソコンに接続する必要があります。

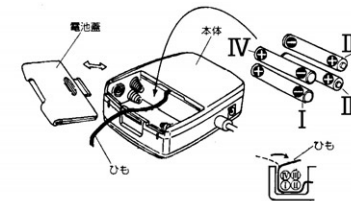
Q: 音が出ない

A: 接続が誤っている場合があります。再度設定・接続を確認してください。

## 乾電池の挿入方法

### 乾電池の入れ方

入れる順番 電池 電池 電池 電池 の順で入れてください。  
極性(+ -)を逆にしないうご注意ください。  
ひもをケースの底部に敷き、その上に電池を入れてください。  
電池を取り出す時は、このひもを引いてください。  
最後に電池蓋を閉じます。蓋を閉めるとき、ひもが外に出ないようにご注意ください。



### 電池の動作確認方法

ハンズフリーホン上部の着信ボタンを押すと、正面右上のLEDが赤く点灯します。これにより

- A. 電源スイッチのON/OFFを確認できます。
- B. 点灯しない場合は電源スイッチがOFFか、電池がありません。新しいものと交換してください。
- C. USB電源ケーブルを接続している場合は、ケーブルが正しく差し込まれていないか、パソコンの電源が入っていません。

### 電池持続時間

1日10分間通信/スイッチONの状態10時間の時、約3ヶ月(アルカリ乾電池使用時)。  
電池が消耗したら、市販の単4形乾電池を4本お買い求めください。

**注意** 乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや破裂のおそれがあります。注意事項をお守りください。

- ・単4形の乾電池以外の電池は使用しないでください。
- ・乾電池の極性(+ -)を、絶対に間違わないでください。
- ・乾電池を長時間ご使用にならないときは、乾電池を取り外してください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池など、混ぜて使用することのないようにしてください。
- ・万一液漏れが生じた場合は、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

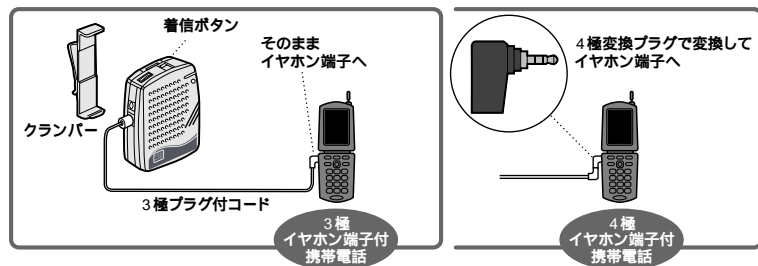
**アドバイス**

- ・電池の消耗を防ぐ、省エネ回路を採用しています。
- ・通話中、相手の音声1分以上途絶えると通話できなくなります。相手が話し始めると、再び通話可能になります。
- ・電池残量確認のため着信ボタンを押す場合は、1秒以内にしてください。1秒以上押した場合、設定によっては自動発信してしまう機種があります。

## 使用できる電話機

携帯電話機(デジタルタイプ、アナログタイプ) PHS電話機 2.5 イヤホンマイク端子付きの機種のみ使用できます。

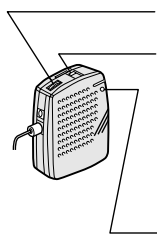
## 携帯電話・PHSへの接続方法



4極変換プラグ 4極イヤホン端子付の電話機でご使用の場合、着信ボタンで着信できます。  
なお、変換プラグを使わず3極端子のまま接続しても使用可能ですが、この場合、着信操作は電話機本体でおこなってください。  
平型プラグ 平型イヤホン端子の携帯電話機には、別途変換アダプタ(丸型 平型)が必要です。携帯ショップ等にてお買い求めください。

## 携帯電話・PHSでの使用方法

乾電池を4本入れてください。入れ方は、乾電池の挿入方法(P.7)の項目を参照してください。乾電池をご使用にならない場合、USB電源ケーブルによる電源供給も可能です。パソコンに接続して使用する場合(P.3)をご覧ください。携帯電話機・PHSに、ハンズフリーホンを接続します。電話機のイヤホン端子によって、下記のように接続してください。  
3極の場合：本製品の3極プラグをそのまま差し込んでください。  
4極の場合：付属の4極変換プラグを使用してから差し込んでください。  
平型の場合：携帯電話会社から発売されている変換プラグ(丸型 平型)を別途お買い求めいただいたうえ、これを使用してから差し込んでください。  
ハンズフリーホンの電源スイッチをONにすれば待ち受け完了です(電話機の電源も入れてください)。



**ボリューム(電源スイッチ兼用)**  
OFFから右に回すと電源が入ります。さらに回すと、音量が大きくなります。

**着信ボタン**

- ・2秒以上押すと着信できます。電話機の取扱説明書に「スイッチ付きイヤホンマイク使用可能」と書いてある機種の場合、ただし、使えない機種もあります。
- ・待ち受け時に2秒以上押すと発信可能な機種もあります。ご使用の電話機の取扱説明書をご覧ください。
- ・通話完了時に2秒押すと、受信の待ち受け状態に戻ります。

基本的に、携帯電話の着信ボタンを押して通話し、切るときは携帯電話の通話終了ボタンを押してください。

**LED**  
電源が入っているときに着信ボタンを押すと赤く点灯します。点灯しない場合は、電池がありません。新しいものと交換してください。

## 上手な通話方法

相手の話がいったん終わったところで話し始めると、スムーズな会話ができます。相手の話が終わらないうちに話し始めると、相手の声が小さく聞こえます。交互に通話する方式のためです。マイクに直接風をあてないように通話してください。車の窓が開いていると風の音が入り、こちらの声が相手に聞きとりにくくなる場合があります。相手方の周囲が騒がしい場合は、こちらの声が相手に聞きとりにくくなる場合があります。音量は、本製品のボリュームと電話機の音量調整ボタンで調節してください。

## 便利な電話の受け方/切り方

自動発信(リモート通話)機能があり、スイッチ付イヤホンマイクを使用できる携帯電話機は、自動発信(リモート通話)をONに設定すれば、電話がかかってきたとき本製品の着信ボタンを2秒押すことで着信できます。切るときも、同ボタンを2秒押してください。

自動着信機能のある携帯電話機の場合、自動着信をONにしておけば、本製品の着信ボタンを押さなくても着信できます。切るときは、着信ボタンを2秒押してください。

### アドバイス

- ・現在の携帯電話は通話終了後、相手が電話を切れば、本人側の携帯電話の通話終了ボタンを押さなくても通話は切れ、ツーツ一音が約10回程度鳴ったあと自動的に待ち受け状態となります。自動車を運転中はこの機能に任せると、ハンドルから手を離さなくても通話・終話ができるので安全です。
- ・スイッチONおよび通話終了後しばらくしてプツッと言音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。乾電池の消耗を防ぐため、本製品の電源がいったん切れる信号音です。そのまま使用してください。
- ・発信/着信前に、必ず電話機を接続しておいてください。発信/着信後に接続すると、ハウリングを生ずる機種があります。

### 注意

- ・本製品を使用している通話中に、本製品の着信ボタンを押すと通話が切れる場合がありますので、通話中にボタンを押さないでください。
- ・本製品をはずして電話機本体で使う場合は、ご使用前に電話機の音量を再確認ください。音量が大きいまま使用すると耳を傷めますのでご注意ください。

## お手入れ

本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみこませた布をよくしぼってから拭いたあと、別の布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナーなどの化学薬品は絶対に使用しないでください。変形・変色や故障の原因となります。

使用する電話機の取扱説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。誤った使用法は、電話機本体および本製品の故障の原因となります。